

1月



霧島市立持松小学校

令和8年1月9日(金)

かがやけ! 持松っ子

努力貯金で3つの花をさかせよう!

《やさしさの花 かしこさの花 たくましさの花》



2026年は、どんな年に



校長 後藤 豊仁
あけましておめでとうございます。PTA、校区の皆様におかれましては、素晴らしい新年を迎えられましたことと存じます。

今月の学校だよりを作成するにあたり、昨年度の学校だよりを確認しましたら、干支からどんな年になるかを調べていました。ちなみに【乙巳(きのと・み)の「乙:きのと」は、周囲との調和を保ちながら目標に向かって進んでいく力を表していて、「巳:み」は、蛇のイメージから、再生と変化を意味し、この2つの組合せから、「これまでの努力や準備が実を結び始めたり、努力を重ねることで、物事が安定していく」といった縁起のよい年である】と紹介していました。

改めて昨年を振り返ってみますと、4名の6年生が無事に卒業しましたが、特認制度での3名の入学により、変化しつつもこれまでの本校の学びが継続された年になりました。入学式には、1人の入学にテレビ局や新聞社が取材に来てくださり、今年の躍進を象徴するようなスタートでした。運動会の盛会、国際大学生との交流もつながりました。図工では、鹿児島県図画作品展県知事賞をはじめ、これまで以上の入賞があり、本校にとって【乙巳】の通りの年になったように感じたところでした。

それでは今年はどうなるのでしょうか。昨年のよい結果にあやかり、干支から調べてみることにしました。

すると【丙午(ひのえうま)】は、60年に1度しか巡ってこない特別な年で、丙(ひのえ)は「陽の火」、午(うま)も「真夏の火」を意味することから丙午は、この2つの火が重なり合うことで、太陽のような強いエネルギーと情熱、行動力がみなぎり、飛躍や発展のチャンスに恵まれるパワフルな年になるということが書かれていました。停滞していた物事が動き

出し、新しい挑戦が結果につながりやすい反面、感情的になりやすく、「正直さ」と「冷静な判断力」が鍵となり、見栄や嘘が通用しないため「誠実さ」が運気を左右するそうです。

一昔前までは丙午の強いイメージから、この年に生まれた女性は気性が激しいという言い伝えが広く語られ、私が子供の頃までは、実際に聞いたことがあります。今では根拠のない迷信であることも明らかになっています。

さて、本校の話に戻ります。3月には学校のリーダーとして取り組んでくれている6年生が卒業し、4月には新入生が1人入学します。来年度の児童数は今の段階で5名、欠学年が3年と6年の2学年になることから、児童数も学級数も、そして教員数も今年度より減少することになりそうです。

ただ、昨年度もこの時期はどうなるかと心配していましたことを考えますと、「飛躍と発展のチャンスに恵まれるパワフルな年」「停滞していた物事が動き出し、新しい挑戦が結果につながる」という【丙午】は、正に本校に当てはまりそうです。

本年も、職員一同、丙午のエネルギーにあやかり、進んで行動していくとともに、1つ1つのことを誠実に進めていくことで、飛躍・発展の年にしていきたいと考えていますので、昨年同様、本校、そして本校の子どもたちへの変わらぬ御支援・ご協力を何卒お願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

霧島高校生による出前授業

12月10日に霧島高校生が3～6年生に出前授業を理科室で行っていただきました。

当日は3名の高校生と担当の先生がペットボトルのふたを使ったパズルづくりをしました。機材等も持ち込んでくださり、丁寧に作り方も教えていただきました。おかげで、ものづくりへの興味が高まり、子どもたちはものづくりの楽しさもあわせて味わうことができました。お忙しい中、本当にありがとうございました。



今年も門松・しめ縄で新年を迎えました。

12月19日に、地域の方の協力をいただき、門松・しめ縄づくりを行いました。門松は、松下重美さんが中心となって、事前に竹の切り出しや準備をしてくださっていましたので、当日は、地域の方々と分担しながら、保護者と協力して製作することでした。

道路から見える校門までの登り口のところには門松、そして校舎入口には立派なしめ縄と、今年も無事に正月を迎える準備ができたところでした。

子どもたちも、思い思いの飾りを付けて、今年もミニしめ縄飾りを作ることができて大喜びでした。



入賞・掲載おめでとう!

第27回南九州かわなべ青の俳句大会 入選
4年 赤崎 陽菜
12/14(日) 南日本新聞「黒ジョカ」掲載「肝心なときに」
12/16(火) 南日本新聞「霧島高校の出前授業」



3日	(火)	きずな・ふれあい集合学習
4日	(水)	A E A
6日	(金)	レッツ!もちまつ子週間(～12日)
11日	(水)	ふるさと霧島カルタ選手権 国民の祝日: 建国記念の日
13日	(金)	命の教育の日 移動図書
14日	(土)	土曜授業日 キャリア教育(ようこそ先輩)家庭教育学級閉級式
18日	(水)	A E A A L T
23日	(月)	国民の祝日: 天皇誕生日
27日	(金)	授業参観(健康に関する講話・学校保健委員会) PTA全体会 学級PTA A E A



肝心なときに

○…自然に囲まれた霧島市牧園の持松小学校には、さまざまな昆虫や小動物が姿を見せる。子どもたちが喜んで眺めるが、もしかしたら、一番楽しみにしているのは後藤豊仁校長(60)かもしれない。

写真添えて、学校のブログで紹介している。

○…12月上旬、校庭の真ん中を1羽のサギが悠々と歩いていった。「シャッターチャンスだ」。ポケットを探るが、スマートフォンがない。慌てて校長室に取りに行き、構えた時には奥のプールの方向へ飛び去ってしまった。子どもたちにも見せてあげたかった…。

○…ネットで調べると、黄色いくちばしと目の周りが黒い特徴から、アオサギらしい。赤崎拓朗教頭(51)に「肝心な時に写せないんだよね」とこぼすと、「タブレットで撮ってますよ」とまさかの答え。冬の珍客をブログに載せつつ、「次こそはわがカメラで」と誓うのだった。

(霧島総局)

霧島高校生が指導 児童らパズル作り

牧園・持松小

霧島市牧園の持松小学校で10日、同市の霧島高校の生徒による出前授業があった。3～6年の児童5人が、ペットボトルキャップのリサイクル材を使ったパズル作りに挑戦した。

高校から総合学科1年の3人が訪問。キャップを細かく砕いたチップを金型に



パズルに挑戦する児童
＝霧島市牧園の持松小学校

均等な厚さに詰め、トースターで加熱して溶かして成形する手順を説明した。児童は助言を受けながら夢中になって製作。パーツを組み合わせて指定された大きさの長方形を作るパズルにも挑戦した。

3年の長友桜叶さんは「ペンチを使ってこぼこをきれいに整えるのが難しかった。リサイクルでまた作ってみたい」と笑顔を見せた。霧島高の下野歩乃理



本校のブログのQRコードです。

さんは「小学生に戻ったつもりになって、分かりやすい伝え方を考えた。集中して取り組んでくれたのでうれしい」と話した。(吉田文)

本校の教育活動の様子が、南日本新聞に掲載されました。1つは、霧島高校の生徒さんや先生と関わりながら、子どもたちが主体的にパズル作りに挑戦する姿を紹介した記事です。もう1つは本校校庭での出来事です。写真を撮ろうとしましたが、肝心のカメラが見当たらず、慌てて周囲を見渡す姿と校長の「次こそは必ず。」という前向きな気持ちをユーモラスに記事にいただきました。自然や日常の小さな出来事を大切にしている本校の姿勢が、こうした形で紹介されたことを大変うれしく思います。今後も、地域に開かれた学校づくりを進めていきます。詳しくは本校ブログをご覧ください。